



特色ある学校づくり

中高一貫教育と観光ビジネスコース

福江高等学校

福江高校は、昨年度から福江中学校との連携型中高一貫教育に取り組んでいます。また、平成30年度から観光ビジネスコースを設置します。新たな取り組みを通じた、特色ある学校づくりについてご紹介します。

◆中高一貫教育の部活動交流

中高一貫教育では、授業・部活動・学校行事を通じて多様な交流活動が行われています。

野球部では、夏の公式戦を終えた中学3年生が福江高校へ来て、高校生の野球部員と一緒に練習に励んでいます。休憩時間も高校生が中学生に話し掛け、和気あいあいと過ごしています。ソフトテニス部にも、大勢の中学生が福江高校のコートにやってきて、一生懸命練習に取り組んでいます。高校生と一緒に練習することで、中学生は、高い技術を間近でみることができ、技術向上につながっています。

また、高校生も中学生に教えながら練習することで基本を思い出し、自分もさらにながらもうという気持ちが出ているようです。こうした交流を通して、中高一貫教育を盛り上げていきます。



●野球部



●ソフトテニス部

◆観光ビジネスコース

平成30年度に設置される観光ビジネスコースでは、観光を切り口にしたさまざまな学習や、インターンシップなどの実習を通じて、多様な進路の実現を目指します。

10月20日(金)に、観光ビジネスの事前演習として「和のおもてなし演習」に取り組みました。今回は、七輪と炭火を使って地元のおいしい食材を調理するという内容で、火のおこし方の説明の後、作業に取り掛かりました。着火剤を使用しないで火をおこしたり、炭火を使って調理をしたりするのは、準備が大変だったけれど楽しかったという感想が多く聞かれました。



●和のおもてなし演習

◆スポーツで地域連携

恒例となった「トライアスロン伊良湖大会」のボランティアに、全生徒・職員・PTAが今年も参加しました。笑顔と一緒に送る「がんばって！」の声、大勢の選手の背中を今年も押してくれました。

赤羽根海岸で開催されたサーフィン大会では、本校生徒が初めてボランティアとして参加しました。海に囲まれた田原だからこそできる、素晴らしい体験です。福江高校は、スポーツを通じて、これからも地域連携に取り組んでいきます。



●トライアスロンのボランティア